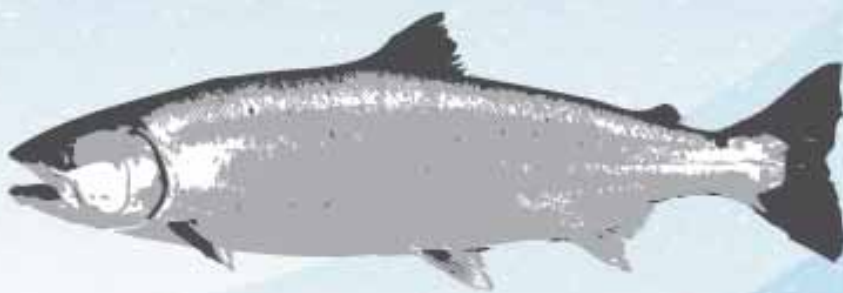


魚と水

Uo to Mizu



46-1

北海道立水産孵化場

魚と水46-1 目次

目次	項目	著者
表紙	<input type="checkbox"/> 印刷版 (495KB)	
目次	<input type="checkbox"/> 印刷版 (76KB)	
水産孵化場は変わる。変わろう。かわらないこと。	<input type="checkbox"/> 印刷版 (745KB)	河村 博
新メンバーからの自己紹介	<input type="checkbox"/> 印刷版 (661KB)	北山進一
新メンバーからの自己紹介	<input type="checkbox"/> 印刷版 (805KB)	遠藤龍彦
新メンバーからの自己紹介	<input type="checkbox"/> 印刷版 (707KB)	神戸沙織
平成20年度 水産孵化場活動記録 (技術指導・水質依頼分析)	<input type="checkbox"/> 印刷版 (790KB)	企画室
平成20年度 水産孵化場活動記録 (各種講演会・話題提供)	<input type="checkbox"/> 印刷版 (790KB)	企画室
平成20年度 水産孵化場活動記録 (場内ゼミ)	<input type="checkbox"/> 印刷版 (790KB)	企画室
人事往来	<input type="checkbox"/> 印刷版 (790KB)	出版委員
裏表紙	<input type="checkbox"/> 印刷版 (495KB)	

一括してダウンロードする場合はこちらを [印刷版 \(4977KB\)](#)

表紙が表示されないというご意見が寄せられています。

そのような場合にはAdobe Acrobat Readerを最新版にすることを推奨いたします。

アドビシステムズ社へのリンクはマリネットのトップページにございますのでご利用ください。

文末のリンクからpdf版のダウンロードができます。

水産孵化場は変わる。変わろう。変わらないこと。

水産孵化場は平成21年4月から新体制で業務に取り組みます。この1年間は水産孵化場にとって、大きく変革する年になります。地方独立行政法人への移行に向けて、水産孵化場ではその準備が進められているところです。

これまで北海道庁の出先機関として水産孵化場は、さけますの種苗生産と放流事業、さけますの資源および増殖管理とそれに関わる試験研究と技術開発、川や湖沼そして農業用水路など内水面における漁業および増養殖に関する試験研究と技術開発、さらに技術指導や普及に取り組んで参りました。これらの業務は、北海道の水産業の振興を主目的として、道民のみなさんの生活の質の向上を目指して進められてきたところです。

地方独立行政法人に移行する水産孵化場の業務目的は、これまでと変わるところはありませんが、取り組む姿勢（システム）や考え方（選択基準）、予算などに変化が求められています。限られた研究資源（研究者、研究施設、それをサポートする人員）を有効に活用して、質の高い研究成果をあげるべく、水産孵化場の職員、ひとりひとりの自覚と努力に負うところが大きいと言えます。

ただし、ひとりひとりが有する能力と努力は限られております。この限界を超えるためには、チームとして課題に取り組み、成果を上げることが欠かせません。団体スポーツでよく言われる「ケミストリー効果」です。平成21年3月に行われた第2回WBC（ワールドベースボールクラシック）の日本代表チームは、苦しい試合を重ねていく課程で、チームに「ケミストリー」が起きて、個々のプレーヤーがあきらめずに、その能力を結集した結果、見事に2年連続の優勝を果たすことができました。試験研究の分野でも、これからはチームとして課題やニーズに取り組み、目指すべきゴール（出口）を明確にして、成果をあげること

がいつそう重要になると考えます。

ところで、昨年、北海道にもどってきた秋サケの数は、8年ぶりに4000万尾を割りました。秋サケは、道民の豊かな秋の味覚であるとともに、北海道水産業では3本の柱として、ホタテ貝および昆布とともに大切な漁業資源を形成していることから、水産孵化場は、その原因究明に取り組むことが求められています。また、湖沼や河川の下流域で漁獲されるシジミ貝（ヤマトシジミ）やワカサギ、白魚など、北海道には食べておいしい内水面の食材が豊かです。内水面の旬の食材をベースにした、地域限定ならびに期間限定の地産地消の取り組みも、北海道の一部の地域で試みられるようになってきました。

水産孵化場は、地方独立行政法人では「さけます・内水面水産試験場」に名称が変わることになりますが、しかし、その主な業務と目指すべきゴールは変わりません。水産孵化場は、これからも道民のみなさん、そして水産業に関わる方々とともに、北海道の水産業の振興ならびに道民のみなさんの質の高い生活の向上に取り組む所存でございますので、変わらないご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

（かわむら ひろし：場長）

異動者からの一言

副場長 北山進一

〒061-1433 恵庭市北柏木3丁目373番地

TEL 0123-32-2135, FAX 0123-34-7233

E-mail: kitayamas@fishexp.pref.hokkaido.jp

この度、4月1日付けの人事異動で、行政職は総務課会計主査の遠藤龍彦さん、同じく会計担当の神戸沙織さん、それに私の3名が新しく水産孵化場の一員として勤めさせていただくこととなりました。どうぞよろしくお祈いします。

さて、私は岡山市の高校を卒業後、東京での学生暮らしを経て、昭和52年に道職員となりました。

初任地は釧路支庁の水産課で、水産物の流通加工や漁協金融、漁業の許認可事務などを担当しました。

当時は米ソの200海里水域設定直後で、漁場を求めて沖合へ遠洋へと進出していった北洋漁業にとり、大きな変革の時代でした。

この釧路と次の勤務地である札幌でそれぞれ5年間暮らした後は、ほぼ2年の間隔で勤務地や部署が変わり、網走市、泊村、函館市、江差町、稚内市など様々な港町と札幌との間を行き来し生活しました。

釣り好きの親や親戚の影響を受け、子供の頃から魚が大好きで、採用時には水産研究職員として、水産試験場や水産孵化場での勤務を希望していました。

結局、その希望はかないませんでした。職員生活も終盤となって、稚内水産試験場やこの孵化場にも勤めることができ、とても幸運だと思っています。



写真1 後志支庁管内某河川

一方、趣味の世界では魚とのつきあいを長くさせてもらっており、カレイが岸寄りする春先は港の岸壁や防波堤で投げ釣りを楽しむとともに、野山の新緑が鮮やかになる頃からはイワナやニジマス求めて渓谷に

分け入っています。特に大型ニジマスの強烈なファイトに魅せられ、週末になれば、自分で巻いた大きなドライフライを喰える魚の姿を妄想する始末です。

また、厳寒期には石狩方面の湖沼や河川に出かけ、テントの中で氷下のワカサギ釣りも楽しんでいます。

近年、年のせいか溪流を歩いてよく転ぶようになるなど、足腰の衰えがとて気になるようになり、3年ほど前からトレーニングのため、夏山登山やジョギングを始めました。

山には気候の良い時期に月一回程度出かけるのですが、利尻山、天塩岳、羅臼岳、斜里岳、暑寒別岳、雄阿寒岳などの名山登山も経験しました。山頂から見渡す絶景に歓喜の声を上げた山もありますが、濃霧や降り続く雨に泣かされた山もあります。



写真2 羅臼岳頂上

体力維持のために始めた登山ではありますが、登山道沿いに咲き誇る高山植物や色とりどりに広がる紅葉に心惹かれたり、さらに登頂に成功した時の達成感言葉には言い表せないほどで、釣りのほかにいたいへん素晴らしい時間が持てるようになりました。

そもそも、私が北海道に移り住んだきっかけは季節がはっきりし、豊かな自然とそこに暮らす生き物たちに魅せられたからであり、孵化場の仕事はその環境を守ることに大きく貢献していると考えています。

ここ数年は、社会情勢がめまぐるしく変化し、北海道の行財政も大幅な見直しが進められてきました。特にこの一年は我々研究機関にとって独立行政法人化に向けた最後の準備期間となりました。

皆様ともども、これから厳しい試練に向かっていくこととなりますが、北海道の水産を支えるサケ・マス資源の維持増大や、地域の特色ある内水面漁業の振興、さらには大好きな北海道の素晴らしい自然環境の保全に少しでもお役に立てればと思っています。

(きたやま しんいち:副場長)

異動者からの一言

総務部総務課主査 遠藤龍彦

〒061-1433 恵庭市北柏木3丁目373番地

TEL 0123-32-2135, FAX 0123-34-7233

史学科卒業後、道立高校の歴史の教員、道立文書館の歴史資料を扱う専門職、知事部局の行政職を、それぞれ十年ほどずつ勤めてきた少々変わった経歴の持ち主ですが、よろしくをお願いします。

当场本館正面の階段の壁に、本道孵化事業の沿革と北海道庁初代の水産課長伊藤一隆の業績を記した大きなプレートが掲げてあって目を惹きます。伊藤は札幌農学校一期生ですが、二期生として有名な内村鑑三もまた卒業後すぐ水産行政に携わっていたことは、あまり知られていないようです。

当场の場長も勤められたことがある伊藤繁氏の著書『ほっかいどう漁業史再発見』に、道立文書館所蔵の公文書の中に内村の自筆による千歳川調査復命書が紹介されていたことを思い出し、原本を見てみました。開拓使の廃止後、北海道庁設置までの約4年間、北海道には札幌県、函館県、根室県が置かれていましたが、その札幌県の公文書を編纂した「札幌県治類典」の1冊がそれです（写真）。

明治15年12月に内村は札幌県勸業課の職員として同僚と共に、当時禁漁の一部解くべきか議論のあった千歳川上流の鮭産卵地を調査したのですが、アイヌの人たちが元のように鮭漁で食糧を確保できるようにすべきとの内村の復命書は伊藤氏の著書にも紹介されていますので、ここでは同僚の十川定道の復命書の中から、130年ほど前の千歳川での鮭の産卵の様子を記している原文を紹介します。なお、読みやすくするために常用漢字に改め、適宜句読点、濁点、改行、注を付しました。下線部は当時のアイヌ語の地名です。

客歳（昨年）の意）十二月十八日千歳川鮭魚ノ産卵ヲ実見スルノ命ヲ受ク。就テ二十一日札幌ヲ発シ千歳ニ達ス。二十二・六日ノ間土人ヲ僦（やと）フテ川崖ヲ歩行シ、或ハ丸木舟ニ乗リテ水流ヲ上下ス。終始水中ヲ窺見スルニ、果シテ雌雄ノ鮭魚相互ニ游泳シテ、砂礫ヲ吻掘シ産卵ス。ショッキ、ルインノ間ヲ過ルトキ、群鮭驚躍シテ推知スベキナリ。ヌツパ、ランゴウシノ水流モ亦（また）産卵不鮮（すくなくならず）ショッキ、ルインハ急流ニシテ産卵多シ。故ニ産卵後ノ鮭八率（おおむ）ネ流緩ナルヌツパ、ランゴウシニ下リテ死スルモノ殊ニ夥（おびただ）シ。然（しか）レドモ千歳ヨリ上下共ニ多少ノ死鮭ヲ見ル。土人云フ、例年夏季死鮭ノ為ニ水流腐敗シテ、飲用ニ供スル能（あた）ハズ。今年ノ如キハ鮭魚夥シク浜来（そらい：浜＝遡）スルガ故ニ、従テ死鮭モ亦多シ。夏季必ズ潜鮭ノ悪臭ヲ発スルハ最モ苛ナラント。

ピラッポヨリ末瀑（最下流の滝の意）下ノ間八産卵僅（わずか）ニシテ、鮭群泳ス。蓋シ（けだし＝思うに）産卵地ヲ求メントシテ浜登スルモ、水底磐石岩磊（らい＝石が重なり合っている様子）ニシテ、産卵スル処極テ稀ナリ、而シテ千歳ヨリ下流カマッカノ間モ亦ピラッポ上流ト同

ジク鮭游泳スルモ、水底沙砂ニシテ産卵至テ稀ナリ。

長都沼（千歳と長沼の境に当時あった湿地帯）ニ達シテ亦群鮭浜泳ス。是石狩ヨリ上流ニ遊登シテ産卵セントスル鮭ナリ。聞ク、此処ニ捕獲スル所ノ鮭ハ皆腹中卵ヲ有セリト。オホイザン、ルインノ沿川ハ鮭卵水底ノ砂礫ヨリ露出ス。ミジオシ、トヒシリ、ランゴウシノ間、亦往々産卵紅色ヲ変ジテ卵円薄桃色トナリテ水中ヲ流動ス。是蓋シ産卵場狭隘ニシテ未（いま）ダ此川ニ浜来スル産卵鮭ニ充ス能ハザルガコヘナリ。

十二月一月ノ交ヲ産卵期トス。其（その）候浜登スル産卵鮭大約十八万尾、産卵地四里許（ばかり）間ニ産出ス。而シテ五月ノ頃卵自ラ孵化シテ一寸乃至（ないし）一寸五分ノ児魚トナリテ海ニ下降ス。親鮭浜来ノ多少アリト雖（いへど）モ孵化児魚ニ至テハ更ニ多少ヲ見ズト（＝いつも多い）又親魚産卵後ハ淀澱（よどみの意）ニ死スルモノ十ノ九。流ヲ下リテ再ビ海ニ入ルモノ十ノ一ナリト。

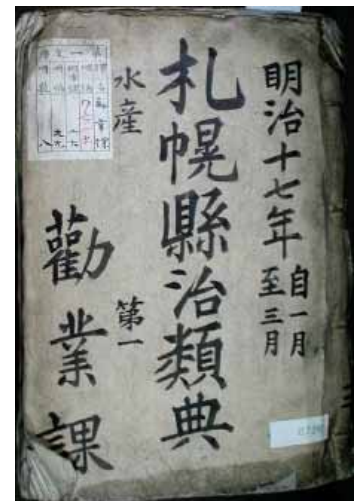
（中略）

千歳ヨリ末瀑ニ至ル上流六里半許間ニ丸木舟ニ乗リテ遡往下来、水中ヲ蹄視スルニ、果シテ灘瀨ノ水底礫砂ノ処ニ産卵ス。其多ク産卵スル所湍畦（原文に「うね」とルビ）アリ、其少シク産卵スル所湍畦ナシ。駅（現在の千歳橋付近に置かれた駅通所のこと）下チヤウスペノ間、亦産卵ス。其最モ多ク産卵スル所ハ、ショッキ、ユナイシュツグンネ、オホイザン、ルインナリ。其多ク産卵スル所ハ、マス、ペシヤ、ランゴウシ、シカベト、イザンナリ。其僅ニ産卵スル所ハ、パカリ、ピラッポ、トヒシリ、マックチリ、ヌツパ、ナイブツ、チライハッタナリ。

之等（これら）ヲ合シテ其産卵スル処ヲ十七トナス。振り返リニ其ノ間ヲ里数ニ延（のべ）テ産卵地ヲ合縮セバ、其川ノ縦九間（約16m）横四里許ナリ。之ヲ千歳川鮭産卵場トス。

アイヌ語地名の位置は榊原正文『データベース アイヌ語地名3 石狩』巻末の千歳川流域図が参考になります。

（えんどうたつひこ：総務課主査）



北海道立文書館所蔵 簿書 8738

異動者からの一言

主事 神戸 沙織

〒061-1433 恵庭市北柏木3丁目373番地

TEL 0123-32-2135, FAX 0123-34-7233

平成13年4月に北海道職員として採用されて、網走海区漁業調整委員会に4年、網走支庁水産課漁政係に4年いて、21年の4月から水産孵化場総務部総務課の会計の担当として異動してきました。

採用されてから8年間水産関係の職場でしたが、仕事は総務的な仕事为主でした。

漁政係の時も会計の事務はやっていましたが、物品を買いたいときは総務課の出納用品係に決定書を持って行くだけだったので、どう頼んでいいのかわからなかったり、かかわからないことだらけです。定時見積にも業者の人が来ない日もあったりしましたし、買う物品もよくわからないものだったりしますし、入札もしたことがないのでちょっと不安です。

毎日わからないことばかりでなかなか仕事が進まないのですが、早く仕事を覚えて孵化場の皆さんにご迷惑のかわらないようにしたいなと思います。

夫も同じ道職員なのですが、昔網走水産試験場にいたことがあって、何でもやらないといけなから大変だと聞いていましたが、孵化場に来て、皆さんいろいろな事務があって大変そうだなと思いました。でも、仲が良くて雰囲気の良い職場だと思いました。

孵化場は山の中にあると聞いてきたので、すごく寂しいところを想像していたのですが、近くまで家もあり、思ったほど山の中ではなかったです。でも、駅からバスがなくて、タクシーで来ないといけなかったりするので、札幌から通勤するのはすごく大変だなと思います。私は恵み野の公宅に入れてもらったので通勤は楽です。

今回車で赴任してきました。あまり遠出をしたことがなかったので長い距離を一人で運転するのは大変でした。

研究員の方々は網走にも何回も来ていて、JRで来ていると思っていたので、公用車で遠くまで出張していることを知って、大変だなと思いました。

恵庭は天気が良くてあたたかいので、道を覚えていろいろなところに行ってみたいなと思います。道東の方しか行ったことがないので、恵庭に来て道南の方まで行きやすくなったので色々行ってみたいです。

海区委員会は水産課と同じ部屋にあって、8年もいたので、今回初めての異動でした。

前の職場も雰囲気が良くて、支庁の各課対抗の球技大会の前はみんなで練習したり、毎週火曜日には水産試験場と内水面室と支庁の水産課とほかの課の人たちと一緒にミニバレーもしたりしていました。

海区委員会や水産課の時は水産試験場や孵化場の方々と一緒に仕事をするのはなかったのですが、話をする機会もあまりなかったのですが、これから孵化場の方々と色々な話ができればいいなと思います。よろしくお願いします。

(こうべさおり：総務課主事)

平成20年度 水産孵化場の活動記録

技術指導

1) 平成20年度さけます増殖技術指導 (出張対応した件数)

支庁	市町村	魚種	件数	関係部
渡島	長万部、八雲(相沼内を除く)、森、鹿部、函館、北斗、木古内、知内、松前	サケ	14	道南支場
檜山	せたな町、、八雲町(相沼内)、乙部町、厚沢部町、上ノ国町	サケ	10	道南支場
	乙部町	サクラマス	10	道南支場
後志	余市町、古平町、神恵内村、岩内町、島牧村、寿都町、真狩村、京極町	サケ	16	さけます資源部
	神恵内村、島牧村	サクラマス	15	さけます資源部
上川	中川町	サケ	2	道北支場
留萌	増毛町、幌延町、遠別町	サケ	17	道北支場
	初山別村	サクラマス	13	道北支場
宗谷	猿払村、枝幸町、浜頓別町、中頓別町、利尻富士町、稚内市、豊富町、礼文町	サケ	15	道北支場
網走	津別町、斜里町、小清水町、紋別市、湧別町、置戸町、丸瀬布町、常呂町、東藻琴村、雄武町	サケ	25	道東支場
	斜里町、小清水町、紋別市、網走市、興部町、上湧別町、雄武町	カラフトマス	16	道東支場
胆振	苫小牧市、白老町、登別町、室蘭市、伊達市、豊浦町	サケ	16	さけます資源部
日高	えりも町、様似町、浦河町、新ひだか町、新冠町、日高町	サケ	32	さけます資源部
十勝	幕別町、更別村、広尾町	サケ	4	道東支場
釧路	鶴居村、標茶町、弟子屈町、白糠町、音別町	サケ	7	道東支場
	鶴居村	カラフトマス	1	道東支場
根室	根室市、別海町、羅臼町、中標津町、標津町、標茶町、浜中町(別当賀 所在地:釧路管内)	サケ	21	道東支場
	別海町、羅臼町、中標津町、標茶町、浜中町(別当賀 所在地:釧路管内)	カラフトマス	7	道東支場
合計			241	

2) 内水面漁業・増養殖技術指導実績 (出張、外勤対応した件数)

支庁	市町村	指導内容	魚種	件数	対応部 科
石狩	石狩市	増殖技術	ワカサギ	4	養殖病理部
	石狩市	魚病・養殖技術	サクラマス	1	養殖病理部
	千歳市	外来魚対策	ブラウントラウト	1	内水面資源部
渡島	函館市	外来魚対策	ブルーギル	9	内水面資源部
	長万部町	外来魚対策	ブラウントラウト	2	内水面資源部
	北斗市	外来魚対策	ブラウントラウト	1	内水面資源部
	森町	外来魚対策	ブラウントラウト	1	内水面資源部
	今金町	増殖技術・検討会・調査方法	ヤツメウナギ	4	内水面資源部
	乙部町	魚病・増殖技術	サクラマス	1	養殖病理部
	厚沢部町	増殖技術・検討会・調査方法	カワヤツメ	4	内水面資源部
後志	古平町	養殖技術	ヒメマス	1	養殖病理部
	黒松内町	魚病診断	アユ	1	養殖病理部
胆振	むかわ町	親魚遡上調査	シシャモ	1	内水面資源部
空知	幌加内町	増殖技術・調査方法	イトウ・アママス・サクラマス	2	養殖病理部・さ
留萌	天塩町	増殖技術	シジミ	7	養殖病理部
	天塩町	調査方法		6	内水面資源部
上川	上川町	養殖技術	全メスヤマメ ニジマス	1	養殖病理部
根室	別海町	調査方法	ヤマトシジミ	10	道東内水面室
	根室市	増殖技術	ワカサギ	1	道東支場
網走	西興部村	養殖技術	ニジマス	1	養殖病理部
	斜里町	養殖技術	サクラマス・ギンザケ	1	養殖病理部
	網走市	増殖技術	シジミ	6	道東内水面室
合計				66	

3) 水質依頼分析

支庁	市町村	内容	件数
後志	寿都町	温泉排水	2
合計			2

各種講演会・話題提供

発表者名	年	月	タイトル	集會名	開催地 市町村	開催団体	聴講者(一般・漁業者など)
青山智哉	2008	8	サケ親魚病原体保有状況調査	日本海増協ブロック会議	せたな町	日本海増協・道南支場	増殖関係者
青山智哉	2008	8	2008年サケ河川遡上見込み	日本海増協ブロック会議	せたな町	日本海増協・道南支場	増殖関係者
青山智哉	2008	8	サケ親魚病原体保有状況調査	渡島増協ブロック会議	函館市	道南支場	増殖関係者
新谷康二	2008	6	支笏湖のヒメマス学習	支笏湖のヒメマス学習会	千歳市	石狩支庁	支笏湖小学校
新谷康二	2009	2	天塩シジミ漁場底質の改善に関する研究	第1回天塩しじみ資源環境対策委員会	天塩町	天塩シジミ資源環境委員会	漁業者・組合関係者
安藤大成	2009	3	標識放流したサケの回帰結果について	平成20年度さけ・ます回帰率向上対策試験結果報告会	網走市	網走支庁	漁業者
伊澤敏徳	2008	5	サクラマスと川の環境について	榎山の森つくり植樹祭	乙部町	榎山の森つくり実行委員会	地域住民・林業・水産業関係者・札幌市民等
伊澤敏徳	2008	6	サクラマス資源と河川環境	榎山漁業士会活動(魚道清掃)	八雲町	榎山漁業士会	管内漁業者・漁協職員・行政(水産・林業・農業)・遊漁者
伊澤敏徳	2008	8	渡島管内のさけ・ます資源	渡島さけ・ます増殖事業協会増殖検討委員会	函館市	渡島さけ・ます増殖事業協会	管内組合長・定置漁業者・支庁水産課・渡島増殖職員・漁業者
伊澤敏徳	2008	9	榎山管内のさけ・ます資源	榎山定置振興会議総会	せたな町	榎山定置振興会	管内組合長・定置漁業者・支庁水産課・漁協職員
伊澤敏徳	2008	10	さけ・ますについての講義	道立漁業研修所・総合研修	鹿部町	道立漁業研修所	研修生
伊澤敏徳	2008	11	サクラマスの一生	総合学習	八雲町熊石	関内小学校	小学生と教職員
伊澤敏徳	2009	2	増殖事業における地場卵確保の重要性	さけ・ます放流計画案意見交換会	函館市	北海道さけ・ます増殖事業協会	管内組合長・定置漁業者・支庁水産課・渡島増殖職員・漁業者
卜部浩一	2008	8	河川環境を復元してサクラマスを増やそう	渚滑川スポーツフィッシングブランド形成フォーラム	紋別市	渚滑川ブランドフォーラム実行委員会	一般
卜部浩一	2008	8	自然再生産資源を活用したサクラマス資源増殖事業の取り組み	日本海増協	岩内町	日本海増協	漁業者
卜部浩一	2008	8	自然再生産資源を活用したサクラマス資源増殖事業の取り組み	さけます増殖事務担当者会議	岩内町	日本海増協・孵化場	増殖事業担当者
卜部浩一	2008	11	サクラマスの生態と河川環境	フィールド系学際研究交流会	札幌市	北海道大学	一般
卜部浩一	2009	1	サケ科魚類の生息環境評価および河川環境復元への応用	樹ドーン環境事業部・水工事業部合同セミナー	札幌市	樹ドーン	一般
笠原 昇	2008	5	カワヤツメ増殖技術開発試験 結果報告並びに計画検討会	カワヤツメ試験計画検討会	江別市	水産孵化場	漁業者・地域住民・石狩支庁・榎山支庁・江別市役所
笠原 昇	2008	8	カワヤツメの現状と問題点	カワヤツメ孵化技術報告会	厚沢部町	水産孵化場	地域住民・榎山支庁・榎山南部指導所・厚沢部町
笠原 昇	2008	8	カワヤツメの現状と問題点	カワヤツメ孵化技術報告会	今金町	水産孵化場	漁業者・地域住民・榎山支庁・榎山北部指導所・今金町
笠原 昇	2008	8	カワヤツメの現状と問題点	カワヤツメ孵化技術報告会	江別市	水産孵化場	漁業者・地域住民・石狩支庁・榎山支庁・江別市役所
笠原 昇	2008	8	カワヤツメの現状と問題点	カワヤツメ孵化技術報告会	蘭越町	水産孵化場	漁業者・後志支庁・蘭越町
春日井潔	2008	8	根室南部沿岸調査結果概要	さけます増殖事務担当者会議	標津町	水産孵化場道東支場	管内増殖職員
春日井潔	2008	8	オホーツクサーモンの豊漁年と不漁年の集団特性に関する研究	さけます増殖事務担当者会議	網走市	水産孵化場道東支場	漁業者・管内増殖職員
春日井潔	2008	8	根室湾のサケ稚魚の生態調査	さけます増殖事務担当者会議	網走市	水産孵化場道東支場	漁業者・管内増殖職員
春日井潔	2008	8	オホーツクサーモンの豊漁年と不漁年の集団特性に関する研究	さけます増殖事務担当者会議	釧路市	水産孵化場道東支場	漁業者・管内増殖職員
春日井潔	2008	8	根室湾のサケ稚魚の生態調査	さけます増殖事務担当者会議	釧路市	水産孵化場道東支場	漁業者・管内増殖職員
春日井潔	2009	3	根室湾のサケ稚魚の生態調査	根室南部沿岸調査担当者会議	札幌市	根室管内さけ・ます増殖事業協会	沿岸調査担当者
春日井潔	2009	3	放流時期が異なるサケ稚魚の降下状況	根室南部さけ定置連絡協議会	標茶町	根室南部さけ定置連絡協議会	漁業者
春日井潔・虎尾充	2008	4	根室湾のサケ稚魚の生態調査(特に標識魚の結果について)	根室南部沿岸調査報告会	中標津町	(社)根室管内さけ・ます増殖事業協会	漁業者・管内増殖職員
神力義仁	2008	8	資源管理モデル構築試験の調査概要	さけます増殖事務担当者会議	室蘭市	孵化場	増殖事業担当者
神力義仁	2008	8	資源管理モデル構築試験の調査概要	さけます増殖事務担当者会議	浦河町	孵化場	増殖事業担当者
河村博	2008	9	アジア固有のさけの仲間 サクラマスが育む生命のつながり	第3回水産教室	積丹町	東積丹漁協積丹支所青年部	小学生・保護者・先生・漁協青年部・役場
河村博	2008	10	さくらます発眼卵の放流とさくらますの生態・ふるさと安平川の昔と今	安平川フォーラム	追分町	NPO町おこし研究所	小学生・先生・地域住民・森つくりセンター
河村博	2009	2	森と海とまちをつなぐ川・生き物たちが育む網走川の生態系サービス	農業・漁業連携フォーラム	津別町	津別農業協同組合・網走漁業協同組合	農業・漁業関係者
川村洋司	2008	7	イトウは害魚か	第3回風蓮川の魚と環境を考える学習会	別海町	道東のイトウを守る会	一般
川村洋司	2008	8	イトウ釣りの末長い楽しみ方	どうなる・斜里川のイトウ	斜里町	斜里川を考える会	一般
川村洋司・下田和孝・青山智哉	2008	11	猿払川イトウ釣り実態調査結果	猿払川イトウ釣り実態調査結果報告会	猿払村	猿払イトウの会	一般
楠田 聡	2008	5	H20年度カワヤツメ試験計画検討会	カワヤツメ試験計画検討会	江別市	水産孵化場	漁業者・地域住民・石狩支庁・榎山支庁・江別市役所
楠田 聡	2008	5	ドジョウの生息環境の保全に関する研究	ドジョウ調査計画検討会	岩見沢市	空知支庁	採捕従事者・農家・地域住民・空知支庁・岩見沢市
楠田 聡	2008	5	カワヤツメ人工孵化におけるマニュアル(平成20年度版)	カワヤツメ孵化技術研修会	厚沢部町	水産孵化場	地域住民・榎山支庁・榎山南部指導所・厚沢部町
楠田 聡	2008	5	カワヤツメ人工孵化におけるマニュアル(平成20年度版)	カワヤツメ孵化技術研修会	今金町	水産孵化場	漁業者・地域住民・榎山支庁・榎山北部指導所・今金町

(前ページの続き-1)

発表者名	年	月	タイトル	集會名	開催地 市町村	開催団体	聴講者(一般・漁業者など)
楠田 聡	2008	6	カワヤツメ人工孵化におけるマニュアル(平成20年度版)	カワヤツメ孵化技術研修会	江別市	水産孵化場	漁業者・地域住民・石狩支庁・空知支庁・江別市
楠田 聡	2008	8	カワヤツメの子供を増やそう! Part 2	カワヤツメ孵化技術報告会	厚沢部町	水産孵化場	地域住民・榎山支庁・榎山南部指導所・厚沢部町
楠田 聡	2008	8	増殖への新たな取り組み	カワヤツメ孵化技術報告会	厚沢部町	水産孵化場	地域住民・榎山支庁・榎山南部指導所・厚沢部町
楠田 聡	2008	8	カワヤツメの子供を増やそう! Part 2	カワヤツメ孵化技術報告会	今金町	水産孵化場	漁業者・地域住民・榎山支庁・榎山北部指導所・今金町
楠田 聡	2008	8	増殖への新たな取り組み	カワヤツメ孵化技術報告会	今金町	水産孵化場	漁業者・地域住民・榎山支庁・榎山北部指導所・今金町
楠田 聡	2008	8	カワヤツメの子供を増やそう! Part 2	カワヤツメ孵化技術報告会	江別市	水産孵化場	漁業者・地域住民・石狩支庁・榎山支庁・江別市役所
楠田 聡	2008	8	増殖への新たな取り組み	カワヤツメ孵化技術報告会	江別市	水産孵化場	漁業者・地域住民・石狩支庁・榎山支庁・江別市役所
楠田 聡	2008	8	カワヤツメの子供を増やそう! Part 2	カワヤツメ孵化技術報告会	蘭越町	水産孵化場	漁業者・後志支庁・蘭越町
楠田 聡	2008	8	増殖への新たな取り組み	カワヤツメ孵化技術報告会	蘭越町	水産孵化場	漁業者・後志支庁・蘭越町
楠田 聡	2008	10	有機水田でのドジョウ増殖	収穫祭	当麻町	当麻町有機農業推進協議会	農家・地域住民・支庁・役場
楠田 聡	2008	10	たんぼのお魚「ドジョウ」	収穫祭	当麻町	当麻町有機農業推進協議会	農家・地域住民・支庁・役場
楠田 聡	2008	11	資源回復に向けたアプローチ	ヤツメウナギを考える会～あれから三年～	江別市	水産孵化場	漁業者・地域住民・北海道開発局・石狩支庁・榎山支庁・空知支庁
楠田 聡	2008	11	排水路改修前後における魚類の生息状況の変化	経営体育成基盤整備事業若菜西地区魚類生息調査に係る報告会	当別町	石狩支庁整備課	農家・石狩支庁・土地改良区
楠田 聡	2008	11	生態系保全型農業の展望	経営体育成基盤整備事業若菜西地区魚類生息調査に係る報告会	当別町	石狩支庁整備課	農家・石狩支庁・土地改良区
楠田 聡	2008	12	排水路改修前後における魚類の生息状況	魚類の生息環境に配慮した排水路改修に係る報告会	札幌市	石狩支庁整備課	北海道開発局・石狩支庁・空知支庁・日高支庁・榎山支庁・農家・アレフ・酪農学園大学・北海道工業大学など
楠田 聡	2008	12	有機水田でのドジョウ増殖	ふゆみずたんぼまとめ会	新篠津村	(株)アレフ	農家・アレフ・酪農学園大学・北海道工業大学など
楠田 聡	2009	1	魚類の生息環境に配慮した排水路改修工法の成果	魚類調査報告会	美瑛市	空知支庁東部耕地出張所	空知支庁東部耕地出張所
楠田 聡	2009	2	ドジョウ資源の回復に向けた取り組み	空知支庁管内ドジョウ資源回復に係る現地懇談会	岩見沢市	空知支庁林務課	採捕従事者・農家・地域住民・北村小学校・空知支庁・岩見沢市
楠田 聡	2009	3	平取北地区1号排水路における魚類の生息状況	道管中山間整備事業(一般型)平取北地区農業用排水路の魚類生息調査	浦河町	日高支庁農村振興課	日高支庁農村振興課・平取町
楠田 聡	2009	3	北海道産ドジョウの資源回復・利用に係る現状と展望	空知支庁管内ドジョウ資源回復・利用促進に係る検討会	岩見沢市	空知支庁林務課	採捕従事者・農家・空知支庁・岩見沢市
楠田 聡	2009	3	カワヤツメにも優しい河川環境	新十津川地区魚道設置検討会	新十津川町	空知支庁整備課	農家・地域住民・日本大学・林業試験場・空知支庁・新十津川町
工藤 智	2009	1	皇居外苑濠における外来魚生息実態について	第4回外来魚情報交換会	彦根市	琵琶湖を戻す会	一般市民
工藤 智	2008	7	北海道における外来魚問題 プラウトラウトの影響	渡島管内外来魚対策協議会	函館市	道庁水産林務部	市町村関係者
工藤 智	2008	9	シシャモ親魚遡上数とシシャモ稚魚生息密度の関係	平成20年度 えりも以西海域 ししやも漁業振興協議会 総会	むかわ町	えりも以西海域 ししやも漁業振興協	漁業者・市町村
工藤 智	2008	10	戸切地川における外来魚 プラウトラウト現地検討協議会調査結果の概要	北斗市プラウトラウト現地検討協議会	北斗市	道庁水産林務部	市町村・遊漁者団体
工藤 智	2008	12	鳥崎川における外来魚 プラウトラウト現地検討協議会調査結果の概要	森町プラウトラウト現地検討協議会	森町	道庁水産林務部	市町村・遊漁者団体
小出展久	2009	3	薬事法改正後の種卵のミズカビ対策並びに麻酔薬について	(社)北海道内水面漁業連合会 研修会	札幌市	(社)北海道内水面漁業連合会	内水面養殖業者
小林美樹	2008	6	平成20年度秋サケ来遊予測	連合海区漁業調整委員会	札幌市	北海道	行政
小林美樹	2008	6	今年の資源状況について	定置対話集会	様似町	定置協会	漁業者・増殖関係者
小林美樹	2008	6	今年の資源状況について	定置対話集会	稚内市	定置協会	漁業者・増殖関係者
小林美樹	2008	6	今年の資源状況について	定置対話集会	白老町	定置協会	漁業者・増殖関係者
小林美樹	2008	6	今年の資源状況について	定置対話集会	函館市	定置協会	漁業者・増殖関係者
小林美樹	2008	7	今年の資源状況について	定置対話集会	釧路市	定置協会	漁業者・増殖関係者
小林美樹	2008	7	今年の資源状況について	定置対話集会	標津町	定置協会	漁業者・増殖関係者
小林美樹	2008	7	今年の資源状況について	定置対話集会	網走市	定置協会	漁業者・増殖関係者
小林美樹	2008	7	今年の資源状況について	定置対話集会	岩内町	定置協会	漁業者・増殖関係者
小林美樹	2008	11	平成20年度秋サケ資源の減少要因について	定置協会理事会	札幌市	定置協会	漁業者
小林美樹	2008	12	平成20年度秋サケ来遊の特徴的事象と知見について	定置漁業振興会議	札幌市	定置協会	漁業者・増殖関係者・行政
小林美樹	2009	2	地場卵確保の重要性について	放流計画地区意見交換会	浦河町	北海道さけ・ます増殖事業協会	増殖関係者
小林美樹	2009	2	地場卵確保の重要性について	放流計画地区意見交換会	岩内町	北海道さけ・ます増殖事業協会	増殖関係者
小林美樹	2009	2	日本海におけるサケ資源の動向について	小樽地区監事協議研修会	小樽市	北海道漁業連合会	漁業者・行政
小山達也	2008	5	遊漁種とニジマス	第3回内水面協議会	恵庭市	水産孵化場	水産林務部・北海道大学水産学研究所
坂本博幸	2008	8	綿実油強化飼料によるサケ稚魚飼育試験	さけます増殖事務担当者会議	標津町	水産孵化場道東支場	管内増殖職員

(前ページの続き-2)

発表者名	年	月	タイトル	集會名	開催地 市町村	開催団体	聴講者(一般・漁業者など)
坂本博幸	2008	8	綿実油強化餌料によるサケ稚魚飼育試験	さけます増殖事務担当者会議	網走市	水産孵化場道東支場	漁業者・管内増協職員
坂本博幸	2008	8	綿実油強化餌料によるサケ稚魚飼育試験	さけます増殖事務担当者会議	釧路市	水産孵化場道東支場	漁業者・管内増協職員
坂本博幸	2009	3	サケ稚魚の海中飼育放流効果の検証	根室南部さけ位置連絡協議会	標茶町	根室南部さけ位置連絡協議会	漁業者
佐々木義隆	2008	8	サケ自然再生産効果に関する研究	さけます増殖事務担当者会議	標津町	水産孵化場道東支場	管内増協職員
佐々木義隆	2009	1	サケ海中飼育と今後の指導体制	さけ・ます人工ふ化放流事業の研修会	釧路市	十勝釧路管内さけます増殖事業協会	管内増協職員
佐々木義隆	2009	2	サケ増殖事業における自場卵確保の重要性について	計画策定地区意見交換会	標津町	北海道さけ・ます増殖事業協会	漁業者・管内増協職員
佐々木義隆	2009	2	サケ増殖事業における自場卵確保の重要性について	計画策定地区意見交換会	網走市	北海道さけ・ます増殖事業協会	漁業者・管内増協職員
佐々木義隆	2009	2	サケ増殖事業における自場卵確保の重要性について	計画策定地区意見交換会	釧路市	北海道さけ・ます増殖事業協会	漁業者・管内増協職員
佐々木義隆	2009	3	秋サケ資源と気候変動	平成21年度標準さけ位置部会通常総会	標津町	標準さけ位置部会	漁業者・管内増協職員
佐々木義隆	2009	3	サケ親魚標識放流試験結果	根室定置網漁業部会研修会	根室市	根室定置網漁業部会	漁業者
美吉隼人	2008	8	サケ年齢査定結果と遡上数の推定	さけますセンター講習会	美深町	センター天塩事業所	留萌管内増協・漁協・支庁・漁業者
杉若圭一	2008	8	さけますについてのあれこれ	恵庭市民さけの会H20年度総会	恵庭市	恵庭商工会議所	一般
杉若圭一	2008	8	サクラムス産卵床	サンル川サクラムス産卵床合同調査事前協議	下川町	北海道栽培漁業公社	行政・一般
杉若圭一	2008	8	標識放流から見た秋さけの回遊経路	えりも以西海区3地区増協合同研修会	白老町	胆振管内さけ・ます増殖事業協会	増殖関係者
杉若圭一	2008	9	北海道サクラムス資源の状況と増殖事業の現状	日本海サクラムス資源造成分科会	秋田市	本州鮭鱒振興会	行政・増殖関係者
杉若圭一	2008	11	秋さけ資源の高位安定を目的とした全道的な沿岸環境モニタリング体制の整備	さけます資源造成推進協議会	札幌市	北海道さけ・ます増殖事業協会	増殖関係者
杉若圭一	2009	2	地場卵確保の重要性について	放流計画地区意見交換会	白老町	北海道さけ・ます増殖事業協会	増殖関係者
杉若圭一	2009	3	平成20年度調査結果報告	全道水産技術普及指導所長会議	札幌市	北海道	行政
寺西哲夫	2008	9	シジミ稚貝の大量生産に有効な方法があるのか?	第4回シジミ資源研究会	茨城県大洗町	シジミ資源研究会	研究者・漁業者等
寺西哲夫	2009	2	平成20年度結果報告	パンケ沼シジミ試験結果報告会	天塩町	北るもい漁協天塩支所	漁業者・支庁・市町村普及指導所
虎尾亮	2008	8	カラフトマス 人工ふ化放流効果の評価	さけます増殖事務担当者会議	標津町	水産孵化場道東支場	管内増協職員
虎尾亮	2009	3	カラフトマス幼稚魚生態調査	根室南部沿岸調査担当者会議	札幌市	根室管内さけ・ます増殖事業協会	沿岸調査担当者
虎尾亮	2009	3	オホーツク中部地区のサケふ化放流事業の現状	平成20年度サケマス回帰率向上対策試験及び雄武沿岸環境調査結果	雄武町	雄武漁協	漁業者・管内増協職員
永田光博	2008	8	MSC認証について	さけます増殖事務担当者会議	釧路市	水産孵化場道東支場	漁業者
永田光博	2008	11	MSC認証について	野付漁協サケ定置船頭会総会	釧路市	野付漁協サケ定置船頭会	漁業者・管内増協職員
永田光博	2009	2	秋サケ資源と気候変動	網走支庁管内漁業士会総会	網走市	網走支庁管内漁業士会	漁業者・支庁・指導所
隼野寛史	2008	8	平成20年度増殖事業実績	平成20年度さけます増殖事業業務担当者会議(ブロック会議)	浦河町	孵化場	日高管内さけ・ます増協・支庁・指導所
藤原 真	2009	3	標識放流したカラフトマスの回帰結果について	平成20年度さけ・ます回帰率向上対策試験結果報告会	網走市	網走支庁	漁業者
藤原 真	2008	8	最近のサケ増殖事業について-過去の検証-	さけます増殖事務担当者会議	岩内町	日本海増協・孵化場	増殖事業担当者
真野 修一	2008	7	網走湖のワカサギ・シラウオ漁業	小川原湖漁協研修	網走市	孵化場	漁業者
真野 修一	2008	9	2008年網走湖ワカサギ・シラウオ漁況について	平成20年度網走湖ワカサギ・シラウオ勉強会	網走市	西網走漁協	漁業者
真野 修一	2008	10	網走湖のワカサギ・シラウオ	網走水産フェスティバル	網走市	網走市	一般
真野 修一	2009	3	ATPIによるワカサギ卵の品質評価	平成20年度試験結果報告会	網走市	西網走漁協・孵化場	漁業者
三坂尚行	2008	8	冷水病実態解明に関わるサケ親魚体腔液および稚魚調査結果	さけます増殖事務担当者会議	室蘭市	孵化場	増殖事業担当者
三坂尚行	2008	8	冷水病実態解明に関わるサケ親魚体腔液および稚魚調査結果	さけます増殖事務担当者会議	浦河町	孵化場	増殖事業担当者
宮腰靖之	2009	3	北海道のサクラムス増殖と生息環境の現状	北海道淡水魚保護フォーラム No.10 in 千歳 ふるさとの魚・サクラムスを	千歳市	北海道淡水魚保護ネットワーク	一般
宮腰靖之	2009	3	沿岸環境とサケの来遊数の関係について	平成20年度さけ・ます回帰率向上対策試験結果報告会	網走市	網走支庁	漁業者
宮腰靖之	2009	3	サケ・マス生態と沿岸環境調査の概要と調査の意義について	平成20年度雄武沿岸調査結果報告会	雄武町	水産孵化場	漁業者
宮本真人	2009	1	浮上槽試験の結果概要について	釧路地区さけます増殖技術研修会	釧路市	十勝釧路管内さけます増殖事業協会	増殖関係者
村上 豊	2008	8	道東地区の民間孵化場紹介	日本海増協ブロック会議	せたな町	日本海増協・道南支場	増殖関係者
安富亮平	2008	6	阿寒湖の現状について	阿寒湖調査持続可能な内水面漁業のための資源管理と基礎生産に関する	釧路市	阿寒湖漁業協同組合	漁業者
安富亮平	2008	12	天塩シジミ漁場底質の改善に関する研究	平成20年度第2回留萌地域協議会	天塩町	留萌支庁	留萌支庁水産課・天塩町他関係者
安富亮平	2009	3	網走川における継続的水質モニタリング調査結果について	網走水産振興協議会報告会	網走市	網走水産振興協議会	漁業者・組合関係者
渡辺智治	2008	7	北海道のシジミ漁業	小川原湖漁業協同組合研修	網走市	孵化場	漁業者
渡辺智治	2008	10	網走のシジミ	網走水産フェスティバル	網走市	網走市	一般
渡辺智治	2009	3	網走湖におけるヤマトシジミ資源調査	平成20年度試験結果報告会	網走市	西網走漁協・孵化場	漁業者

(学会等での発表と出版物は、平成20年度北海道立水産孵化場事業成績書を参照)

場内ゼミ

担当部	発表者名	タイトル	集会名
さけます資源部	神力義仁	平成20年度サケ標識放流試験結果	さけます資源部ゼミ
	川村洋司	猿払川下流のイトウ遊漁について	
	宮本真人	浮上槽の話	
内水面資源部	楠田聡	カワヤツメの孵化技術の開発試験 成果と今後の展開	内水面資源部ゼミ
内水面資源部 養殖病理部	内藤一明	ニジマスの生物学とその利用	内水面プロジェクト会議
	小出展久	北海道におけるニジマス養殖と利用	
	河村博	人為的環境改変とニジマス	
	小山達也	遊漁種とニジマス	
	新谷康二	食材としての養殖代替種	
養殖病理部	内藤一明	ニジマスの生物学	養殖病理部ゼミ
	三坂尚行	An incidence of bacterial cold water disease (BCWD) in chum salmon <i>Oncorhynchus keta</i> fry in Hokkaido, Japan	
	小出展久	平成20年度道南支場発眼率向上試験結果報告	
	水野伸也	サケ人工種苗の健康診断技術開発	科学研究費セミナー (道北支場)
	水野伸也	サケ人工種苗の健康診断技術開発	
企画室	中村幹雄	ヤマトシジミの生態	中村幹雄氏を迎えて
	新谷康二	天塩、網走におけるシジミ漁業の現状	
	寺西哲夫	天塩におけるシジミ種苗生産の取り組み	

(きかくしつ:企画室)

人事往来

平成21年3月31日付

退職	原 高史	前	水産孵化場長
退職	新谷康二	前	水産孵化場内水面資源部長
退職	笠原 昇	前	水産孵化場内水面資源部 主任研究員

平成21年4月1日付

水産孵化場長	河村 博	前	水産孵化場副場長
水産孵化場副場長	北山進一	前	水産林務部水産局水産振興課長
水産孵化場総務部総務課主査(会計)	遠藤龍彦	前	空知支庁地域振興部地域政策課 主査(地域政策)

水産孵化場総務部総務課	神戸沙織	前	網走支庁産業振興部水産課
水産孵化場さけます資源部長	永田光博	前	水産孵化場道東支場長
水産孵化場さけます資源部主任研究員 兼資源解析科長	青山智哉	前	水産孵化場道南支場資源科長
水産孵化場さけます資源部資源管理科長	宮腰靖之	前	水産孵化場さけます資源部 資源解析科長

水産孵化場内水面資源部長	杉若圭一	前	水産孵化場さけます資源部長
水産孵化場内水面資源部主任研究員	川村洋司	前	水産孵化場さけます資源部 主任研究員

水産孵化場内水面資源部河川湖沼科研究職員	新谷康二	前	水産孵化場内水面資源部長
水産孵化場内水面資源部道東内水面室長	隼野寛史	前	水産孵化場さけます資源部 資源管理科長

水産孵化場道北支場長	鈴木邦夫	前	水産孵化場内水面資源部 道東内水面室長
------------	------	---	------------------------

水産孵化場道南支場長	大久保進一	前	水産孵化場道北支場長
水産孵化場道南支場資源科長	楠田 聡	前	水産孵化場内水面資源部 河川湖沼科研究職員

水産孵化場道東支場長	伊澤敏徳	前	水産孵化場道南支場長
------------	------	---	------------

札幌土木現業所事業部事業課

施設保全室主査

遠藤博一

前 水産孵化場総務部

総務課主査(会計)

栽培水産試験場企画総務部総務課主査

益村尚隆

前 水産孵化場総務部総務課

(平成21年4月1日現在)

